



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学校だより

令和5年度 1月号



【3学期が始まりました】

衝撃的なニュースから始まった令和6年の年明けでした。石川県で起きた地震では、日を追うごとに被害の甚大さが明らかになりました。被災地に日常が戻るまでには相当な時間がかかることが予想されます。災害の種類は違いますが、西日本豪雨のことを思い出された方も少なくないと思います。また、翌日には羽田空港で航空機事故が起きました。炎に包まれるジャンボジェット機の映像は衝撃的でしたが、ジャンボジェット機の乗員乗客全員避難の報道に安堵しました。これらの災害や事故で、残念ながら命を落とされた方のご冥福と1日も早い復興をお祈りするとともに、私たちは安全で安心できる生活のためにできることをしていかなければならないという思いをいっそう強くした年始でした。始業式では、これらのことに触れ、避難訓練の意義や大切さについて児童生徒に話をしました。学校では、3学期も避難訓練をします。ご家庭でも、万一来に備えて避難場所の確認や非常持ち出し袋の準備等、ご家族で相談していただければと思います。

さて、令和6年は辰年です。十二支の中で唯一の空想の生き物である「辰」は、最も縁起の良い干支と言われており、様々な願いを叶えてくれるだけでなく、あらゆる物事をいい方向へ導いてくれる力があるとされています。「大きく成長し、形がととのう年」とも言われる辰年、倉敷まきび支援学校の児童生徒たちがますます成長し、活躍できるよう、3学期も教育活動を充実させ、学年のまとめをしていきます。本年も、引き続きご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

(校長 梶谷 淳子)

【まきびカフェ】

「まきびカフェ」は、保護者の皆様の悩みごとや心配ごとを共有したり、解決のためのアイデアを見いだしたり、ホッと一息癒され合う場です。

今年度は7月・9月・12月に開催しました。7月に行われた第1回目は「自分のこと、子どもの生活のこと、日頃のことなどを話そう」、9月に行われた第2回目は「先輩ママの話を聞こう」、12月に行われた第3回目は「レジリエンス(立ち直り力)を高めよう」というテーマで行いました。どの回も就労継続支援B型事業所「まーる」の方にドリップコーヒーを



用意していただき、コーヒーの香りに包まれながら、日頃の悩みを話し合ったり、進路のこと、将来の生活について先輩ママからアドバイスをもらったり、自分自身について振り返ったりしました。参加していただいた保護者の方からは「勉強になった。」「また参加したい。」等の感想をいただきました。来年度も保護者の皆様が「また来たい!」「もっと聞きたい!」と思っていただけるような会を企画していきたいと思います。

(指導教諭 豊田 真澄)